

【2021年8月22日 KT師重賞本命と見解】

北九州記念

本命はボンボヤージ。

父ロードカナロア、母母父デインヒルはスプリントの名血。

さらに母父ディーパインパクトは格上相手の昇級戦で上昇しやすい種牡馬。
実績馬が休み明けでハンデ戦なら血統に託したいです。

アウィルアウェイはスプリントの名牝トキオリアリティーの一族。

使っている強みと、前走よりも消耗戦になりそうな点も上昇材料。

ジャンダルムは母が芝 1200m を 2 勝したビリーヴ。

スプリントの名血。遂に前走でスプリント戦を使ってくれました。

ここもスケールで突破も。

札幌記念

本命はアイスバブル。

当レースでも母父ミスプロ系か米国型のディーブ産駒は
10 頭出走して 4 連対。掲示板は 6 頭。

母父はミスプロ系のキングカメハメハ。

キングカメハメハ産駒も当レースで 1-3 着を独占したことがあるように、
ディーブの次に相性の良い種牡馬。前走もメンバー中最速の上がり。

ラヴズオンリーユーは母父米国型のディーブ産駒。

近親にキングマンボ。アイスバブルがハマる馬場なら当然相手に。